

R4 矢上小学力向上プラン構想図

学校教育目標

地域に根差し、次世代を担う、心身ともに健康な子どもを育成する

めざす子ども像

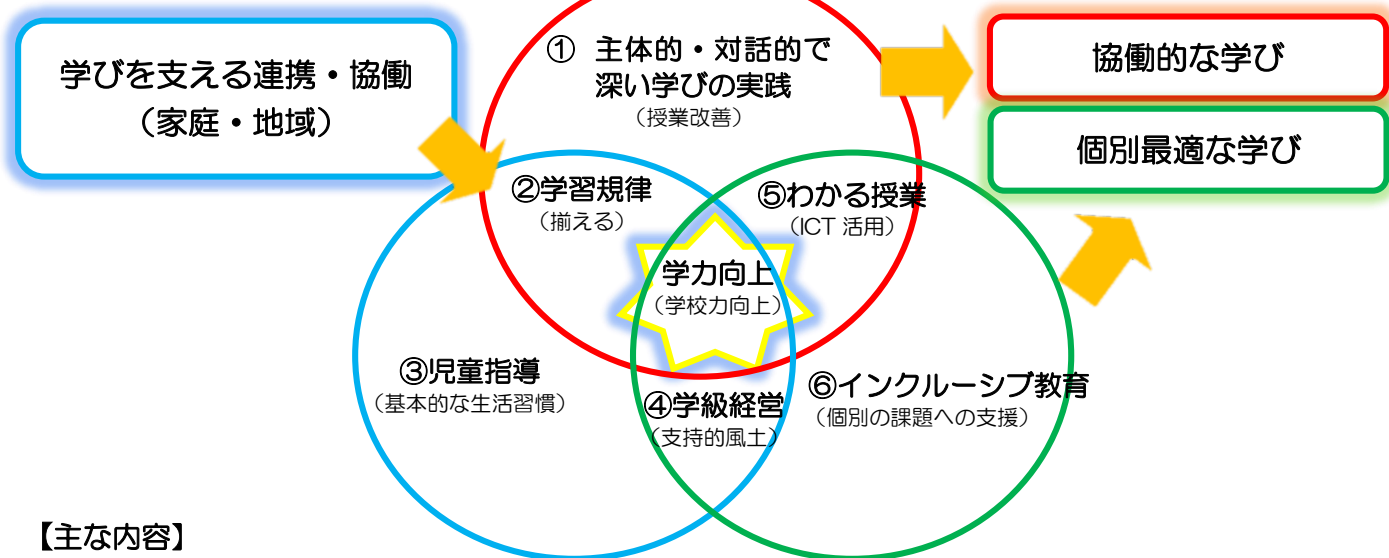
やさしく思いやりのある子ども
がまん強くたくましい子ども
みずから考え取り組む子ども

研究テーマ

「主体的に学び、伝え合う子どもの育成」

～学ぶ楽しさやよさを実感できるICTを活用した授業づくり～

【学力向上を目指す6つの視点】



【主な内容】

○児童指導

- ・「矢上っ子まるわかり」
「笑顔が花咲く矢上小」
「こんな子どもになろう」
(揃える持ち物・掲示物)
- ・家庭学習の手引き
低学年30分
中学年1時間
高学年1時間半
- ・1分前着席
黙想→挨拶
(揃える学習規律)
- ・家庭・地域との連携

○主体的・対話的で深い学びの実践

- ・「めあて」と「まとめ」が明確な授業づくり
- ・子どもと設定する「めあて」や「学習の見通し」
- ・「問題解決」「情報の整理分析」「発信」の場面でのICT活用(わかる授業)
- ・協働的な活動を意識した授業づくり
(他者とのすり合わせ)
- ・「振り返り」の充実
(指導と評価の一体化)

○インクルーシブ教育

- ・算数での少人数、TTの実施
- ・ICT活用の時間の確保
(個に合わせた学習進度の確保)
- ・個別に課題がある児童への支援
- ・スキルタイムの活用(基礎基本の定着：モジュール時間の活用)
- ・スマイル教室(専門スタッフとの連携)

学びを支える連携・協働

協働的な学び

個別最適な学び